

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 10歳 未滿	免疫 (なし)	0.5mL 1回	急性散在性脳脊髄炎	
				接種日	近医にて本剤接種。
				接種7日後	興奮しやすく、同じ言葉を繰り返すようになり、眠りも浅くなり徐々に症状悪化。
				接種11日後	症状悪化し、近医受診。表情の変貌あり、興奮症状も激しく、本剤接種後で急性散在性脳脊髄炎(ADEM)を疑い、他医療機関を紹介。他医療機関受診時、反響言語あり、興奮状態でADEMを疑った。頭部MRI T2・FLARで両側後頭葉を中心に皮質下白質に散在性に高信号あり。髄液細胞数も57/3と上昇あり、IgG:18, IgM:0とIgGの上昇を認めた。経過・所見よりADEMと考え、同日よりステロイドパルス療法開始。
				接種13日後	興奮症状は改善していたが、おとなしく言語を発しない状態が持続。ステロイドパルス療法、同日までで終了。
				接種14日後	ステロイド(プレドニゾロン)内服を開始。
				接種15日後	深夜より興奮症状の持続あり、口の自動症、手足をもぞもぞ動かす動作が出現し、眼球も上方向へ共同偏視あり。
				接種16日後	眼球多方向への共同偏視あり。自動症、落ち着きのなさは持続。頭部MRIでは接種11日後と比べ全体的に信号は薄くなっているが、一部増強している部位もあり。ステロイドパルスのみで症状抑えきれず、人免疫グロブリン(400mg/kg)の5日間投与開始。
接種20日後	徐々に興奮症状落ち着き、数語の発語表現あり。				
接種27日後	退院となった。				
併用薬: なし					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 10歳 未滿	免疫 (なし)	0.5mL 1回	脳炎, ウイルス性髄膜炎	
				接種日	近医にて本剤接種。
				接種17日後	嘔吐。
				接種18日後	発熱38度以上続く。
				接種20日後	明け方, 熱性けいれん。その後も全身状態不良のため, 他医療機関へ紹介, 入院となる。 入院時の髄液検査でウイルス性髄膜炎と診断。髄液ウイルス分離提出。脳圧降下薬, 抗生剤, 補液で治療開始。
				接種22日後	髄液検査上は, 細胞数が低下し改善傾向。
				接種24日後	発熱と項部硬直が続くため, 頭部MRI, 脳波施行したところ, 脳炎と診断。同日より, ステロイドパルス(3日間), 人免疫グロブリン(1日間), アシクロビル(7日間)投与開始。
				接種28日後	治療後, 解熱, 全身状態改善し, 脳波所見も改善。
				接種30日後	頭部MRI異常なし。
				接種39日後	治療終了後の検査, 異常のないことを確認し退院。外来で定期的に脳波・健診施行中だが, 明らかな後遺症なし。
接種91日後	入院時, 髄液中からムンプスウイルス検出あり。同定検査したところワクチン株と一致したことから本剤による副作用と確定診断。				
併用薬: なし					